

科目	精神障害作業療法学Ⅱ	担当	坂井 一也	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

精神障害を持つ人の生活上の障害の理解と、作業療法介入について学び、精神科作業療法の評価と治療技術を習得することを目標とする。

【履修注意】

精神医学的知識が基本的に必要である。
講義順序が入れ替わることがある。
毎回出席を原則とする。欠席時には必ず連絡すること。

【評価方法】

出席、授業態度(居眠り、私語などは減点の対象となることがある)、レポート、筆記試験

【試験について】

(筆記試験)

再試験対象者の条件：試験等の総合成績60点未満

【予習・復習】

予習・復習による積極的な授業参加を期待する

【教科書】

書籍名：精神障害作業療法第2版 著者：香山明美・小林正義・鶴見隆彦 出版社：医歯薬出版
図解 作業療法技術ガイド第3版 著者：石川 齋・古川 宏 編 出版社：文光堂

【参考書】

書籍名：統合失調症患者の行動特性 著者：屋田 源四郎 出版社：金剛出版

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	作業療法の基本的な理念	作業療法の理念・歴史・精神保健の現状
2	精神科作業療法の基本	基本的な考え方・モデル・概念・最近の流れ
3	精神科作業療法の評価(1)	精神科作業療法の評価・基本的態度・関わり方
4	精神科作業療法の評価(2)	精神科作業療法の評価・基本的態度・関わり方
5	評価と面接・観察	面接・観察・各種評価法
6	急性期作業療法	急性期作業療法・急性期の特徴・必要性
7	精神障害の回復過程	急性期・消耗期(休息期)・回復期・維持期の作業療法
8	回復過程と作業療法①	回復過程に基づいた評価・治療・留意点①
9	中間まとめ	前半の理解とまとめ
10	回復過程と作業療法②	回復過程に基づいた評価・治療・留意点②
11	精神障害者の行動特性(1)	統合失調症の認知・行動特性
12	精神障害者の行動特性(2)	統合失調症の認知・行動特性
13	精神障害者の関わり方(1)	アプローチの基本的な知識
14	精神障害者の関わり方(2)	治療的な関わり
15	まとめ	総まとめ
16	期末試験	15回の復習・確認・総まとめ